

【第1880回例会 卓話】 令和 3年10月12日

米山奨学生

バンダーラナーヤケ ショハーン  
マルウィンダヤス 様

皆さんこんにちは。

世話クラブ銚子ロータリークラブで、カウンセラーは大里忠弘さんです。今日は皆さんの前で私のことについて卓話をさせていただく機会をいただきありがとうございます。

今日は**自己紹介と国紹介、大学生生活と研究、米山奨学生で出来事**について卓話をさせていただきます。

1. 自己紹介と国紹介

名前 : バンダーラナーヤケ ショハーンマルウィンダヤス  
出身 : スリランカ (CEYLON=セイロン)  
年齢 : 26歳  
家族 : 5人 (両親と兄と妹そして私)  
2016年04月18日 来日しました。  
2年間 → 千葉科学大学の留学生別科  
2018年4月 (入学)  
千葉科学大学の危機管理航空技術危機管理学科



1. 自己紹介と国紹介

私は千葉科学大学, 航空技術危機管理学科3年生のバンダーラナーヤケショハーンマルウィンダヤスと申します。バンダラナーヤケダヤスは名字です。名前がとても長いので先生と友達にショハーンやションと呼ばれているので皆さんも良かったらショハーンと呼んでください。年齢は26歳です。趣味はサッカーをすることと映画をみることです。映画の中でアクション映画がとくに好きです。私の家族は両親と兄と妹の五人家族です。父はビジネスマンです。車の貸し出しをやっています。母は専業主婦です。兄はシェフです。妹は高校生です。中学校から高等学校まで St.peter's college Colombo 04 で勉強をしていました。中学校から高等学校までサッカーをやっていました。



出身地はスリランカのガンパハです。ガンパハは、スリランカの西部州ガンパハ県の都市です。スリランカの最大の都市コロンボの北東に位置し、ガンパハ町の面積は 64 km<sup>2</sup>です。ガンパハでは、夏は長く、暑く、年間を通じて蒸し暑いです。1年を通して、気温は 22° C から 33° C に変化しますが、20° C 未満または 35° C を超えることはありません。ガンパハにおける年間で最も多い降雨量は、11月2日を中心とする31日間であり、平均合計降雨量は 232 ミリメートルになります。最も降雨量が少ないのは 2月13日を中心とする期間で、平均降雨量は 44 ミリメートルになります。

スリランカで走っている車の約60%が日本車です。私の父も日本車に乗っていました。車のマニュアルは日本語でした。図解があるマニュアルをみて日本の文字を不思議だな、面白いなどおもっていました。これが私の日本との最初の出会いです。高校を卒業後、外国へ留学したいと思いました。日本は高度な科学技術を持ち、経済的に発展している国と子供頃から日本の文化や文字に興味があったきっかけで、日本に留学することに決まりました。2016年04月日本に来てから、千葉科学大学の留学生別科で日本語の勉強を始めました。日本に来たばかりのころことを今でも覚えています。日本語がうまく話せなくてとても苦しかったんですが、先生や日本語学校仲間た

ちにいろいろと助けてもらい日本語がだんだん話せるようになり、日本の生活にもなれました。アルバイトを探すことはとても大変でしたが諦めずに頑張りました、そして日本に来て最初のアルバイトとして銚子駅前の居酒屋で働くことができました。今年の9月に4年目になりますが今も銚子駅前の居酒屋で働いています。

## 国の紹介



スリランカはみなみアジアのしまぐにです。ベンガル湾のなんせいとアラビア海の南東にあるインドのように位置しています。首都はコロンボです。スリランカは北海道より少し小さい島国で、その島の形から「インドの真珠」「インドの涙」とも言われています。時差は日本より3時間30分遅れ、人口は約2027万、公用語はシンハラ語、タミル語です。首都はコロンボです。昔、スリランカはポルトガルやオランダ、そしてイギリスの植民地でした。1948年02月04日にイギリス

から「セイロン」として独立しました。スリランカで、シンハラ人、タミル人とムスリム人がすんでいます。主な文化としてシンハラ人の文化とタミル人の文化があります。シンハラ人は仏教とキリスト教、タミル人はヒन्दゥー教、ムスリム人イスラム教とスリランカで宗教が4つに分かれています。

シンハラ人とタミル人の中で牛肉食べない人が多いです。ムスリム人は豚肉を食べないです。他の肉食べていますが食肉であればイスラームの戒律に従い屠殺されたものがハラール肉で、ムスリムはこのハラール肉以外は食べられないと言われています。

多くのスリランカ人は名前が長いです。基本的にはシンハラ語の名前には、2つまたは3つの部分が含まれる場合があります。1つ以上の名前と苗字です。

例えば私の名前はシンハラ語で書くと17文字でも英語で書くと29文字になってしまいます。シンハラ語でそんなに長くないけど他の語で書くと長くなってしまいます。

英語のアルファベットは26文字で構成されていますが、私たちのアルファベットは56文字で、13個の母音（ぼいん）と43個の子音（しいん）があります。ですから、非常に多くの英語の文字を混ぜ合わせずに、実際に聞こえる方法で単語を書くことはかなり困難です。

ශොහාන් මර්වින් ඩයස් බණ්ඩාරනායක 17文字

shohan mervin dias bandaranayake 29文字

ショハーン マルウィン ダヤス バンダーラナーヤケ 22文字

スリランカは同じ名前がある人は日本と比べたら少ないです。

## 2. 大学生活と研究

2016年04月から2018年03月まで留学生別科で日本語を勉強しました。色々な国の人と同じクラスで日本語を勉強するのはとても楽しかった思い出にもなりました。私のクラスでブラジル人、ベトナム人、韓国人、中国人がいました。色々な国の文化や社会のことも勉強になりました。私はサッカーがとても好きでブラジルはサッカーが代表する国だしブラジル語もとても好きなので別科の多く時間がブラジル人と過ごしました。別科の時あったスピーチ大会にも参加することが出来ました。自分が人の前で話すのがあまり得意ではないし今まで母国にいた時スピーチ大会に出たことも無かったので自信が無くてあまりやる気がなかったけど先生方が[ショハーンくんスピーチ大会出てね][頑張れば出来るよ]といつもお宴してくれたので加計学園第8回スピーチ大会に千葉科学大学代表で出て最優



秀賞になることができました。今日まで自分がスピーチ出来ないと思っていたことがただの緊張感だけだと自分にも分かりました。その後 B-COM スピーチ大会にも出て最優秀賞になることが出来ました。これが別科の時の忘れられない思い出にもあります。年に一回クラス皆でそれぞれ国の料理作って持って来て食べる行事がありまして人生今まで食べてない美しい料理も食べることが出来ました。別科の時皆で行った箱根、研修旅行もとても楽しかったです。一泊旅行でしたが、富士急ハイランドや大涌谷を見てとてもびっくりしました。大涌谷から見える富士さんがとてもきれいでした。優しい先生方の指示に従って日本語を勉強しながら日本文化や社会のこと 2 年間、勉強することが出来たので千葉科学留学生別科に留学したことはとても良かったと思います。あっという間に別科の 2 年間終わってしまいました。この 2 年間で日本語、日本文化、日本社会のこと勉強をして今の自分がここに皆さんの前で立って話をするまで成長をしています。別科の先生方のおかげです。心から感謝してもしきれないです。 2018 年 04 月に特待生として大学に入学できました。大学では、発表やレポートなどが多くなり、大変なこともたくさんあってあきらめようと思ったこともありました。でも先生と学科の仲間の世話にもなり、無事に乗り越えました。今は 4 年生で、卒業研究をやっています。研究テーマは **CIS 風洞を用いた翼性能実験における誤差要因の究明** です。研究について本学では、翼の空力特性を理解することを目的として、風洞を用いた学生実験が行われています。実験で用いられる翼型は、世界的に広く知られている NACA4412 である。しかし、学生実験で得られた結果は、NASA が公開している翼性能データと異なった傾向を示し、その原因も明らかになっていない。また、毎年同様な結果が得られるため、実験装置や実験方法に原因があるのではないかと考えられてきた。そこで、本研究では、NASA のデータと CIS 風洞を用いた実験より得られたデータの比較を行う。さらに、重合格子法を用いて風洞内流れ場の数値的な再現を試みたいと思っています。

### 3. 米山奨学生で出来事

米山奨学生になったことはとても嬉しく感じています。今年は奨学生になってから 2 年目です。例会や奨学生の行事に参加することで日本人や色々な国の人との交流や日本文化などを体験することもできています。今年は新型コロナウイルスの影響で行事が中止になったことで他の奨学生とロータリアンの皆様と交流が出来てないことはとても悲しいです。米山奨学生になってから 2 年目の自分を見たら、皆の前で話すことや人との交流することや理解能力が大きく変わっていると感じます。米山奨学生になった 1 年目のとき例会で皆の前で話す

ことがとても緊張しましたが世話クラブの皆様はいつも “今日の近況報告を楽しみにしています” “良くできたよ” “頑張ってるね” といつも家族のように励ましてくれたので今の自分は毎月の例会に出席してカウンセラーとクラブの皆様と話すことがとても嬉しいです。奨学生の 1 年目のことを丸で今も覚えています。最初の例会、カウンセラーとロータリアンの皆様と一緒に行った外食、奨学生セミナー、研修会、去年の 10 月皆で行った勝浦研修旅行などです。新型コロナウイルスの影響でアルバイトも出来なくなって収入が大幅に減って日本での生活がとても大変になったけど、奨学金を頂いたお陰で乗り越えることが出来ています。安心して大学の研究や就職活動に集中することが出来たのでロータリアンの皆様から心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。これからも行事がたくさんあると思います。ぜひ参加していろいろ体験をしたいと思っています。このような色々な経験は普通の留学生活ではなかなかできないので、とてもきちょうなそんざいだと思っています。ロータリアンの皆様から心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

#### 奨学生研究旅行（勝浦）2020.10.25

